

●●●様

本問題（テーマ）のポイントは、次の2点になります。

- ① 風水害へのハード・ソフトを組み合わせた総合対策
- ② 新たな取組を加えた対策を実施する上での課題

○課題について

- ・挙げられた3つの課題とも異なる観点から分析（課題の背景、問題点の抽出）ができています。
- ・ただ、課題1）と課題3）の赤字黄色ハッチ部分に不十分な点がみられます。
- ・課題1）の問題点（ボトルネック）は、「なぜ対策が進まないのか？」を書くべきです。
- ・課題3）のタイトルが「風水害」のことを示しているのに、課題の背景の内容が「地震」の被害想定のことを書いていますので、論理性に違和感があります
- ・「新たな取組」という点で見ると、試験委員によるとと思いますが、課題2）は比較的新たな取組として判断されると思いますが、課題1）と課題3）は従来からの取組と判断される可能性があります。

【受験者で差がでるところ】

- ・ズバリ、「新たな取組を加えた対策を実施する上での課題」を深掘りできているかどうか？
- ・この深掘りをどこまで丁寧かつ論理的に表現できているかで、試験委員は受験者に差を付けられると思います。
- ・例えば、次のような課題の書き方があります。（某受講生の添削例）
 課題1）「情報技術の高度化による災害レジリエンスの構築」
 平時の河川流域の管理において、試行的にドローンによる調査や3次元モデルによる設計を実施しているが、発災直後の被害調査や応急復旧時にそれらを上手く活用できていない。
 そのため、発災時でもドローンや3次元モデルの新技术を迅速かつ効果的に活用できるようにすることが課題である。
 それには、発災時に新技术を活用する準備体制不足や行政の人材育成不足が問題である。
- ・これは一例で書いていますが、新たな取組による問題点（ボトルネック）の抽出がある程度できています。

○重要課題の選定理由について

- ・他課題との比較、費用対効果の分析ができていますので、特段問題ありません

○解決策について

- ・課題の問題点（ボトルネック）にほぼ合致した解決策が挙げられていますので特段問題ありません。
- ・一部気になる箇所について、添削修正させていただきました。
- ・解決策に書かれている内容が「新たな取組」になっていますので、その取組内容を課題で表現し、その問題点（ボトルネック）を技術面、人材面、制度面、コスト面などから抽出すれば、論文全体として申し分ないものになっていたと思います。

○新たなリスクについて

- ・リスクの最終行先をキチンと書くことをお勧めします。
- ・「品質低下」がリスクというよりも、「品質低下」により社会的にどのような影響を及ぼすのかまで表現する方がよいです。
- ・私の方で少し添削追加させていただきましたので、参考にしてみてください。
- ・あと、リスク対策のところで「形式知」というキーワードが使われているので、文章全体や文章間の論理的なつながりを良くするために、「暗黙知」も同時に使われるといい文章になると思います。
- ・赤字黄色ハッチ部分について、事業の一般的な留意点を書いているに過ぎない感じがします。再考が必要です。

○技術者倫理について

- ・内容に特段問題ありません。

※1回目の添削及びアドバイスを終了します。

※上記アドバイスを十分に吟味して、2回目の答案作成に取り組んでください。

以 上

AXS技術士学院
講師 はねびと